

SINCE 2005

Vol.216
monthly issue

カルチャー通信

April 2023



特集 第23回明治座クラシックコンサート

今年は、グスタフ・マーラー。

ピアニスト 原ゆうみが初参加



第23回明治座クラシックコンサート

5/27(土) 17:00開演 (16:00開場)

5/28(日) 13:00開演 (12:00開場)

Gustav Mahler
グスタフ・マーラー
交響曲第1番「巨人」

François Devienne
フランソワ・ドヴィエンヌ
フルート協奏曲 第7番 ホ短調

コンサートマスター／白井 圭
フルート／竹山 愛

一般：3,000円
高校生以下：1,000円

音楽監督：白井 圭
演奏：レボリューションアンサンブル
主催：加子母風起こし実行委員会
明治座クラシックコンサート実行委員会
共催：中津川市
中津川市教育委員会
協力：明治座活用委員会
ギターマンドリンふれあい村

ピアニスト
(上区)

原 ゆうみ



明治座クラシックコンサート
実行委員長

秦 雅文

今年も、グスタフ・マーラー。

明治座クラシックコンサートにピアノ演奏で参加される上区の原ゆうみさんにお話を聞きました。

秦 今回の明治座クラシックコンサートではマーラーの交響曲第1番「巨人」を演奏することが決まり、ピアノが必要ということになりました。原さんにお話しすることになったのですが、明治座クラシックコンサートにピアノが登場するのは初めてです。2017年にチェンバロ演奏で上区の渡辺敏晴さんが参加したことがありますが、それ以来の加子母在住者の参加です。出演が決まった感想を聞かせてもらえますか。

原 マーラーの交響曲と言えば、大編成の弦楽器・金管楽器・打楽器が繰り広げる壮大でドラマティックな響きのイメージがあります。

今回演奏する交響曲は五十分ですが、それでも演奏時間が比較的短いんです。第三楽章には聞き覚えがあるメロディーが出てきます。このメロディーはドイツの童謡「フレールジャック」をもとに作られていて、日本でも「グーチョキパーで、グーチョキパーで、何つころう」の歌でおなじみですね。なじみや自然の情景を感じさせる曲です。

の空間というのは演奏者の気持ちとお客さんに力をもたらすことで音楽が出来上がっている感じがします。

秦 明治座での演奏より他のコンサートホールでの演奏の方が音は確かに綺麗に聞こえますけど、例えるとCDを聞いているのに近い感じがします。それに比べて明治座で聴く音は、もっと生の音を聞いているような感じが強いんです。

白井圭さんも、ホールによって響きは違って、あまり好きじゃないホールってところもあると言っていました。もっと響かないところで弾くこともあるし、決して明治座の響きは嫌いではないとも言っていました。

原 クラシックは、乾燥した空気と石の建物などの響く空間で生まれているのに対し、日本の音楽は湿度と木の建物で生まれた音楽で、残響というより一瞬の息の込め方がポイントになる気がします。

秦 オーケストラにピアノが入ることって少ないんじゃないですか

原 交響曲にピアノが入るっていうのは少ないです。もともと弦楽器・管楽器・打楽器で作るのがオーケストラなのです。ピアノは同時にたくさん音が出せるので、指揮教室などではピアノがオーケストラの音を弾いて指揮の練習に付き合います。それくらいピアノだけでオーケストラの和音の響きを表現できるのです。

今回は私もオケに乗ることになりましたが、聴くのを楽しみにしていたので、正直なところ聴くがわりに回らなかったですね。

でも、レボアンの皆さんと一緒に音を出して、音楽を一緒に作れるということは嬉しいことなので、打診が来た時には即決してしまっていました。オーケストラの中で弾くというのは久しぶりなので楽しもうと思います。

秦 今まで演奏に加わってみたいと思ったことはあったのですか？

原 いつも聴くことが楽しかったので、ないですね。

演奏する側に立つて考えると、明治座で弾くというのは心構えがすごく重要なんです。反響がなく自分の音が跳ね返ってこないで、自分の気持ちで音を出してそれを頼りにするしかないんです。

普通のコンサートホールの方が断然弾きやすいと思います。ホールの響きに頼れないので聞いている人に届いているかどうか分からない。だからあそこ

今回演奏するこの曲も、本来はもっと大勢で演奏することが多く、ピアノも入りません。今回は二十五人だけで演奏するにあたって、足りない音をピアノを加えることでカバーするんだと思います。まだ楽譜を見てないのでなんとも言えないですけど、そう理解しています。

今回はアコーディオンも加わるそうなので、それも面白いですね。アコーディオンも足りない音をカバーするために入るんじゃないかと思うんです。アコーディオンがどういう音色をカバーするのが楽しみです。

秦 音楽監督の白井さんは若い頃からここへ来て音楽を作ってきて、加子母を「音楽的心の故郷」とまで言っています。

白井圭さんをはじめとしたレボアン(レボリューションアンサンブル)の皆さんが、どうしてこんな山の中まで来て演奏会をやるかといえば、彼らの自分たちの音楽を創たいという気持ちで、加子母の空気や、美味しい食べ物や、演奏会と一緒に創りたいという地元の人たちの思いが後押ししてこれまで続いてきたわけです。

それぞれのやりたい気持ちがあわさり、パワーが増強され、ここでしか体験することができない演奏会の魅力を作り出しているのだと思います。

レボアンのメンバーが流動的であるように地元もいろんな人の協力によって更に続いていくことが望ましいと思っています。

原さんの演奏が加わる今回の演奏会が今から楽しみです。

わが家のPet!



小郷 三浦 メルちゃん 4才 #31

あたしはお店の看板娘犬なの。

ご主人が『三浦メルちゃん!!』と呼ぶと

『は——い!!』って左足をあげて元気よくお返事ができるの。

取材に来た人がそれに吃驚して、「すごいねえー!メルちゃん!!」って褒めてくれたの。

『メルちゃん、靴下を持って来て』と頼まれるとご主人のところまで持っていけるの。

ご主人のお母さんのことが大好きだから、頼まれると嬉しくて喜んで持って行くの。

お客さんに撫でて貰ったり、音の鳴るボール遊びも大好き!

取材人はメルちゃんにボールでいっぱい遊んで貰って癒しの時間になりました。

りえ



コウノトリ

	2021年度		2022年度	
	男	女	男	女
4月	0	0	0	1
5月	0	0	1	0
6月	0	0	1	0
7月	1	0	0	0
8月	0	0	1	0
9月	0	1	0	0
10月	0	0	2	0
11月	0	0	0	0
12月	0	1	0	0
1月	0	0	2	0
2月	1	0	1	0
3月	0	1	0	0
計	2	3	8	1

(令和5年3月15日現在)

かしも通信文芸

俳諧正調

4月馬鹿では済まない義理が 出来て心の花曇り

深山路男

短歌

まんまるの月のありどを数えつゝ子に尿さす声きこへ来る

細川紫雲

短歌

家計簿に又出る赤字耐え難く生きる努力の限界を思ふ

三浦郷風



佐野智哉のキツキート

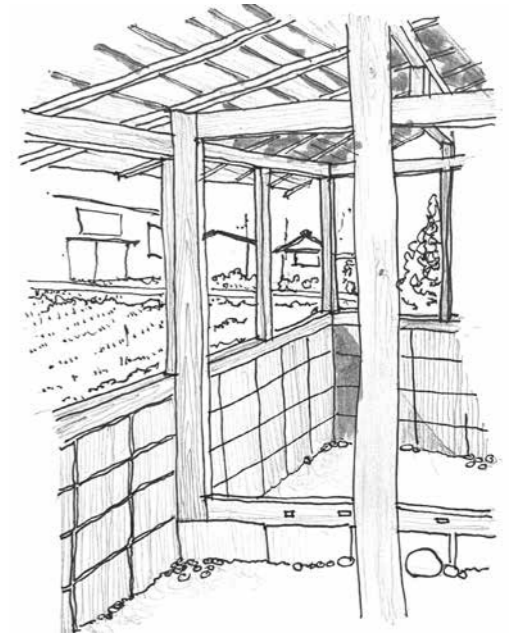
暖かくなり、老朽化していた倉庫の壁を張り替えようと思立ちました。

壁を解体すると光や風が入り、居間からの眺めも良くなり、壁を張るように準備をしていたのですが、手が止まってしまいました。

木が傷んでる部分もいくつかあったため部分的に壊して減築するか、長持ちさせるよう改築するか、車庫にするよう増築するか、選択肢がいくつも浮かんできて悩んでしまいます。

どこの家でも解体後の骨組み状態が開放感があり良い感じだなあと思うのですが、雨風や冬の寒さから守るためには、そのままという訳にはいきません。

休みの気が向いた時にしか作業はしないので、悩む時間はたっぷりあります。ゆっくり解体しつつは、ゆっくりつくり、つくりながらまた悩み、そんな時間が贅沢なのではと言いつつ、冬で縮こまっていた自分にムチを打つのでした。



かしも紀行 里山スケッチ

～ある日の学童～

「ファインプレー」

日本中、WBCのサムライジャパンで盛り上がっている。まったくの野球オンチの私でもテレビ中継に釘付けになって



いる。今夜は、イタリアとの準々決勝という日の学童で、宿題が終わった子供達に、「野球しよう!」とさそうと、3年生の野球大好き1君、即座に「やるっ!」と答えた。倉庫からダンボールを丸めたバットと、径15センチほどのゴム球を持って来る。選手は、3年生2人、1年生2人の男子、70才を越えたピッチャーの私と、若い高校生指導員のKさんの計6人だ。3年生チームと1年生チームに分かれた。が、1年生2人が3年生に勝つわけではない。それにルールも分かってない。私は、なにしろ1年生の味方だが、私の投げるボールがとても打ちやすいらしく、3年生は、ヒットやホームランばかりを連打する。また3年生が打った。ボールは高く高く上がった。私は夢中で1年生H君に叫んだ。

「取って!取って!取って!」

次の瞬間、1年生H君は、上から落ちてきたボールをしっかりキャッチしていた。誇らしげな顔で。

「アウト!」



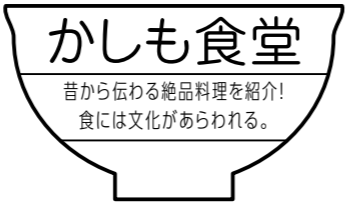
2005年の4月から始まった、かしも通信は、19年目へ突入します。18歳といえば今は成人ですよ。かしも通信も成人か。ちょっと成長したような気がしたりして…。たいして進歩した気はしないけれど、進んではいるんだろう。ナメクジのようにゆっくりゆっくり進んでいる。カタツムリなら殻に閉じこもることもできるけどナメクジは進むしかできない。

時々、駆け抜けてみたい気もするけど、ヌルヌルとしか進めない。でも時間が経つと、びっくりするほど進んでいるのに気づいたりする。通った跡が日に当たってピカピカと光ると綺麗だったりする!

すぐに雨に洗われて跡形もなくなってしまふけど、また進めば跡は残る。どこへ向かっているのかはわからないけど、ナメクジなんてそんなものだ。

できることなら、塩だけはかけないで欲しい。

いつかは走ったり、飛んだりできるようになれると思いつつ進んでるナメクジもいるんだよ。



ヤーコンを育て料理しませんか?

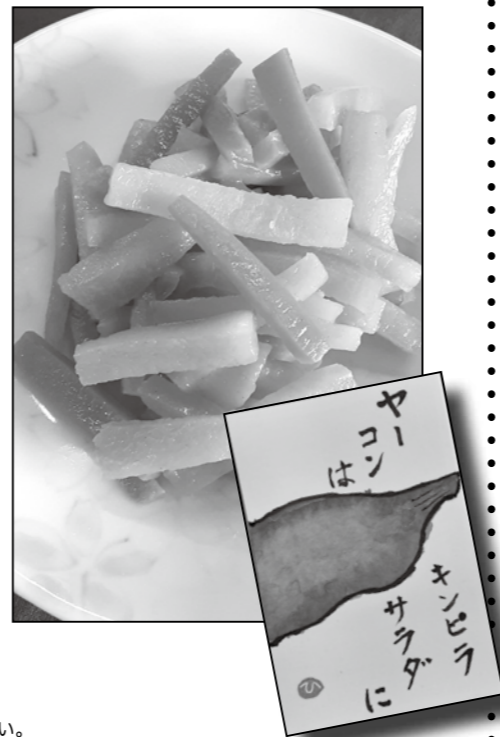
Hさんに昨年、ヤーコンのきんぴらを頂き美味しかった。話を聞いて、Hさんのヤーコンへの愛を感じた。

27年前、アルバイトで知り合った方から種芋を別けてもらい作り続けているそうです。4月中ぐらいに親いもから芽がついた小芋をもいでポット植える。5月の終わりごろと里芋を作るように植える。葉、花が2メートル位高くなります。秋に収穫した芋を新聞紙に包み発泡スチロール箱に、保存します。3月10日ヤーコンを頂いたがっかりした芋で早速きんぴらにしました。シャキシャキして絶品。

ヤーコンは植物繊維、ポリフェノールカロチン、ビタミンCが含まれ栄養価が高い野菜として注目されています。店でヤーコンが手に入らないので今年はヤーコンを作ることから始めませんか?

- 材料**
- ヤーコン
 - 人参
 - ごま油
 - だし
 - 地たまり

- 作り方**
- ①ヤーコンを千切りにして水にさらす。あくが強いので水を何回も替える。
 - ②千切りした人参、ヤーコンをごま油で炒め、天然だしを入れ地たまりで味をつける。



絵手紙：加子母公民館絵手紙教室協力
加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井三月 ☎ 0573-79-2627

小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信
2023年3月23日発行 No.216

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



かしもっ子だよ全員集合!



中 20名の卒業生



小 感謝の気持ちを伝え合う「6年生を送る会」



中



小



保 ぞう組さんさようなら。保育園さようなら。

中 学校▶ 3月9日。本校から20名の卒業生が、義務教育の課程を修了し、加子母中学校を巣立ちました。思えば、今年度の卒業生は中学校3年間の全てがコロナ禍にあり、様々な制限の中での中学校生活でした。その中でも中学校生活を充実させ、加子母中の文化を高め、後輩に引き継ぎ、困難に立ち向かい、乗り越えてきた集団です。

地域に挨拶を響かせよう!
小中の関係を深めよう!
「いいね!の輪」で、仲間のよさを広めよう!
困難な暮らしの中であって、いつもポジティブに考え、活動を創造した3年生は、立派な学校のリーダーでした。卒業証書授与式は、爽やかな晴れ空に恵まれた暖かい日に、温かな仲間との最後の時間を十分に満喫し、胸を張って卒業していきました。その姿を見た後輩たちは、これからの加子母中学校文化を背負う決意と覚悟をもち、その姿を見送りました。

小 学校▶ 3月1日(水)に6年生を送る会がありました。最高学年として1年間加子母小学校をリードしてきた6年生に感謝の気持ちを伝える会です。今まで学校の行事は6年生が中心となって計画してきましたが、今回は5年生が計画、準備して進行しました。5年生が工夫した、ワクワク感のあるオープニングで会がスタートしました。1年生から4年生は、歌や合奏、ありがとうのメッセージを様々な工夫して伝えました。どの学年も1年間の成長が感

じられる発表で、6年生も笑顔で聞いていました。6年生は各学年へのメッセージとともに、「旅立ちの日に」の合唱発表をしました。卒業を前にした堂々とした発表に1~5年生までが引き込まれるように聞いていました。最後にはスペシャルステージとして、NAOさんによるマジックショーで楽しみました。全校児童が「ありがとう」を伝え合い、心が通い合ったとてもあたたかな6年生を送る会となりました。

保 育園▶ 3月の行事にて、卒園を控えた5歳児ぞう組さんのお別れ会を行いました。4歳児が中心になって会場準備をしたり、司会も行っていました。2・3歳児も手伝う様子を見て、各学年の一年の成長を感じます。出し物を披露したり、プレゼントをもらった後のぞう組さんのお礼の歌は9人とは思えないくらい力強い歌声でした。お別れはもう一つあります。69年の長い間地域の皆さんに支えられてきた「加子母保育園」は今年度で最後です。来年度からは今まで通り加子母らしさを盛り込んだ特色を継ぎ、「加子母こども園」として、これからも子ども達のよりよい自立を目指した教育を行っていききたいと思います。さあ、楽しみの春です。感染症の影響もまだ続くと思いますが、前を向いて元気に成長していく事を願います。皆さんおめでとうございます。

乳幼児▶ 加子母・付知子育て支援センターくるりんぱ感染症拡大防止対応の「くるりんぱ開放日」を設けています。



4月の行事予定

【お願い】現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等が中止や延期、規模を縮小しての開催になっています。下記予定も変更等される場合は十分にありますので、ご承知ください。

1	土	【小中学校】学年始休業日(～6日)
2	日	
3	月	岐阜県議会議員選挙期日前投票(～8日) 交通安全協会全体役員会(19:30～)
4	火	
5	水	区長会初顔合わせ(15～)
6	木	農事改良組合長会初顔合わせ(19:30～) 【こども園】開園式・入園式
7	金	【こども園】家庭訪問 【小学校】始業式・入学式 【中学校】着任式・始業式・入学式
8	土	
9	日	大型ごみ(9～13) 岐阜県議会議員選挙投票日
10	月	【こども園】家庭訪問 【小学校】交通安全教室 【中学校】交通安全教室1年生対象
11	火	行政相談(13:30～加子母公民館) 【こども園】家庭訪問
12	水	【こども園】家庭訪問 【中学校】生徒会始動式
13	木	【こども園】避難訓練・誕生日会
14	金	【こども園】身体測定
15	土	トヨタ紡織森づくり(10～)
16	日	不燃・硬質・資源ごみ(17～18)
17	月	中津川市議会議員選挙期日前投票(～22日)
18	火	人権相談(13～加子母総合事務所) 【小学校】全国学力・学習状況調査(6年生) 【中学校】全国学力・学習状況調査(3年生)
19	水	
20	木	肉牛生産組合総会(19～)
21	金	
22	土	【小学校】授業参観・PTA総会・学級懇談会 【中学校】授業参観・PTA総会
23	日	中津川市議会議員選挙投票日
24	月	農事改良組合長会(19:30～) 【小中学校】振替休業日
25	火	区長会 【こども園】交通安全教室
26	水	1歳6か月児健診(午後～福岡会場)
27	木	【小学校】家庭訪問1日目(～5/1)
28	金	3か月児健診(午後～福岡会場) 乙女溪谷山開き(11～) 【こども園】内科検診 【小学校】1年生を迎える会 【小学校】家庭訪問2日目
29	土	昭和の日
30	日	



風の強い日が多く、空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状態となっています。火の取り扱いには十分注意してください。

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

岐阜県議会議員選挙・中津川市議会議員選挙が行われます ～あなたの1票が未来をつくる～

■岐阜県議会議員選挙

《投票票》 4月9日(日)

《期日前投票》 4月3日(月)～4月8日(土) 加子母公民館第1研修室

■中津川市議会議員選挙

《投票票》 4月23日(日)

《期日前投票》 4月17日(月)～4月22日(土) 加子母公民館第1研修室

令和5年度中津川市奨学資金の申請書の受付を行っています

進学の意欲と能力がありながら経済的な理由で修学が困難な学生に対し、奨学資金を貸与します。市では、大学(短期大学を含む)、専門職大学(専門職短期大学を含む)、専修学校、高等学校、高等専門学校に在学する方を対象に中津川市奨学資金の申請書の受付を行っています。(大学院など対象外となる場合がありますので、学校名を提示してご相談ください。)《提出期限》 4月7日(金)

ウクライナ人道危機救援金、トルコ・シリア地震救援金のお願い

■ウクライナ人道危機救援金 令和6年3月31日(日)まで

■トルコ・シリア地震救援金 令和5年5月31日(水)まで

加子母総合事務所ロビーに募金箱がありますので、皆様のご協力をお願いします。

図書室だより

【4月おすすめ図書】

■植物考 (著 藤原辰史)

はたして人間は植物より高等なのか?植物のふるまいに目をとめ、歴史学、文学、哲学、芸術を横断しながら人間観を一新する、スリリングな思考の探検。

■折れない言葉(著 五木寛之)

「明日できることは、明日やろう」名言を信じて、私は今日まで生きてきた—五木寛之90歳を支える言葉。励ましにみちた珠玉のエッセー集!「ボケない名言」サンデー毎日連載、待望の書籍化。

■カミキィの(か和いい)季節のおりがみ 和テイストで楽しむ(著 カミキィ)

季節に合わせて、飾ったり贈ったりして楽しめる、かわい「和」のおりがみ作品を紹介。お正月や七夕など日本ならではの行事で使える作品はもちろん、ハロウィンやクリスマスのモチーフも、和風の柄や和紙で折ると一味違った魅力を再発見できる。

■はじめての子ども手話 ゼロからどどんひとりで学べる!(監修 谷千春)

手話に興味を持った子どもに向けた本。耳の聞こえない子ども、その家族、ろう学校の先生など、日常的に手話を使っている人の意見も採り入れ、本当に使える手話表現を厳選。楽しく遊びながら手話が覚えられる。動画が見られるQRコードつき。

■木箱の蝶(作 藪口莉那 絵 横須賀香)

お父さんの部屋で見つけたのは、木箱に入った片方だけの蝶の羽。その夜、寂しそうに窓の外を見つめる蝶の夢をみたばくは、画用紙と絵の具で蝶の仲間を作ろうと思立ち…。現在絶滅危惧種に指定されている蝶をモチーフにした、大切な自然について考える絵本。



加子母の人口と世帯数(令和5年3月1日現在) 世帯数:955世帯 男:1,232人 女:1,273人 計:2,505人